



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 33

(令和3年5月発行)

新年度のご挨拶

院長 木村 啓二



令和3年は寒波と大雪で始まりましたが、3月からは比較的温暖となり、当院も穏やかに新年度を迎えることができました。日頃より独立行政法人国立病院機構盛岡医療センターの運営につきまして、皆様のご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当院では4月1日付けで医師3名、新人看護師11名の赴任など恒例の人事異動がありました。平成23年10月から約8年間院長を務め、その後名誉院長として勤務を継続していた菊池喜博医師が3月31日付けで勇退したため、後任として東北大学医学部呼吸器内科から大江崇医師が着任しています。神経内科では3年間病棟業務中心に勤務していた加藤加奈子医師が医局人事で岩手県立中央病院に異動し、代わって岩手県立二戸病院から村田隆彦医師が転属しました。村田医師はパーキンソン病をはじめとする神経変性疾患の専門家で、盛岡北部～中心地域の変性疾患患者さんの診断治療に当たることが期待されています。まず手始めとして、6月1日より神経内科外来を週2回火曜日（小原智子医師）と木曜日（村田医師）の午後に開設しますので、ふるえや歩行障害などに悩む患者さんがいれば是非ご紹介頂ければ幸いです。また、これまで松園第二病院で総合内科医として活躍していた只左一也医師も4月1日付けで着任しました。消化器外科を5年間経験した経歴がありますので、当院の一般

●病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する

- 基本方針●
- ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

内科診療のさらなるレベルアップにつながると考えております。昨年10月には循環器内科専門医の肥田親彦医師が着任しており、当院内科は呼吸器内科以外の内科領域でもより一層地域に貢献できる体制が整いつつあります。紹介・逆紹介を通して、当院はこれまで以上に地域から求められる医療を提供できるものと確信しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年2月以降日本全国で猛威をふるっているCOVID-19に関してですが、地域医療連携室だより1月号で触れた通り、当院は岩手県のCOVID-19対策の一員として 1) 岩手県が整備してきた各地域の結核病床をCOVID-19病床に転用するため、岩手県内で発生した結核患者をすべて当院で引き受ける、2) 当院の一般病床にある陰圧個室2床を盛岡ならびに県央保健所管内の小児軽中等症COVID-19患者用に整備運用する、3) 帰国者・接触者外来（現在の診断・検査外来）では保健所ならびに岩手県入院搬送等調整班の要請を断らずCOVID-19の診断治療に当たる、4) 感染爆発が生じた際には新たに大人用の12床（4床室、3部屋）を提供できるように準備する（あくまで予備のベッドであり現段階で県から認められたCOVID-19用のベッドではありません）、という4点を実行してきました。これらのことを日々地道に実践することで、他の中核医療機関との連携のもと岩手医科大学付属病院および岩手県立中央病院の2つの高度専門医療機関の機能を維持し、岩手県全体の通常医療・救急医療を守ることに、微力ながら貢献していると考えています。第3波極期の首都圏、現在（第4波）の大阪・兵庫、あるいは4月の宮城県のようにCOVID-19と診断されながら必要な医療を受けられず、自宅で死亡したりホテルで酸素吸入や点滴を行うような事態を岩手県では絶対に起こしたくありません。幸い西欧諸国に遅れること4か月、ようやくワクチン接種が本格化しようとしています。この点でも当院は全力で医療スタッフや接種会場の提供に取り組む所存です。通常医療や救急医療が保たれている内に、何とかして全県民にワクチン接種を普及させたいものです。

今年度も当院はCOVID-19診療に貢献すると共に、通常医療（呼吸器内科・整形外科・小児アレルギー・リウマチ内科・循環器内科・神経内科・重症心身障害者ならびに一般障害者の長期療養など）において盛岡市医療圏（特に西北部）中心に病診連携、病病連携、病院・介護福祉連携を大切に、患者さんや地域から信頼され、求められる医療を提供する努力を継続してゆきたいと考えております。本年度も皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



神経内科に常勤医師がやって参りました!!

【神経内科】

神経内科医長

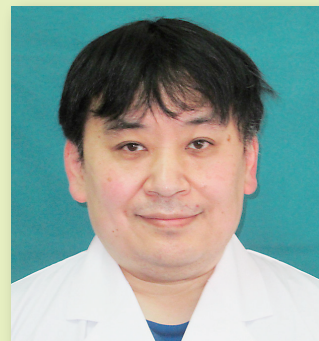
むら た たか ひこ
村 田 隆 彦

出身大学

岩手医科大学

資格・専門医等

日本内科学会認定医
日本神経学会専門医・指導医
日本頭痛学会専門医・指導医
日本認知症学会専門医・指導医
日本老年精神医学会専門医・指導医



《医師からのご挨拶》

2021年4月より盛岡医療センター脳神経内科に勤務することとなり、このほど着任いたしました。

赴任前は、岩手県立二戸病院脳神経内科に約17年間勤務しており、脳血管障害に加えて、パーキンソン病を始めとした神経変性疾患などの脳神経疾患全般の急性期を中心とした精査・加療に従事してまいりました。久しぶりの盛岡での勤務で緊張する部分もあります。

脳神経内科は、脳や脊髄、神経、筋肉を診る診療科であり、認知症、脳卒中、頭痛、てんかん、髄膜炎や脳炎などに加えて、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症などの神経難病を専門としていますが、昨今の高齢化率の上昇もあり、神経内科を受診される方が多く、需要度が高まっております。

地域医療は近隣の医療機関だけでなく、様々な職種や一般の方々のご協力のもとで成り立っており、現在も皆様方からの多大なご尽力をいただいております。今まで学んだ知識や経験を如何なく発揮すると同時に、頼りがいのある上司、同僚医師、およびスタッフと共により良い医療を提供できるよう心がけたいと思いますので宜しくお願いいたします。

内科に常勤医師がやって参りました!!

【内 科】

内 科 医 長

ただ さ かず や
只 左 一 也

出 身 大 学

東京大学

資格・専門医等

臨床研修指導医



《医師からのご挨拶》

このたび盛岡医療センターに着任しました只左一也と申します。

富山県で生まれ、横浜の郊外で育ちました。一度、大学を卒業した後（理学部で地学を、大学院でスポーツ科学を学びました）、医学の基礎研究を志して医学部に再入学しました。登山が好きで山岳部に所属していたのですが、毎年夏に北アルプスの山岳診療所の手伝いをしておりました。そのときに外傷を数多く経験して、外科を目指すようになりました。大学卒業後は北アルプスの麓、岐阜県の高山赤十字病院で初期研修を行いました。

初期研修終了後は、北上の県立中部病院で外科研修を行い、その後は外科スタッフとして、消化器を中心に数多くの手術を執刀する機会を頂きました。様々な救急・外傷症例を経験したり、癌の緩和医療にも携わったりしました。（岩手にやってきたのは、宮沢賢治が好きで、豊かな自然と人々のやさしさに惹かれたからです。）

盛岡は妻の故郷で、県庁所在地なのに自然が豊かで景色が素晴らしいのが気に入って、数年前に江刺から移住してきました。地元で役に立ちたいと思い、近所の小病院で総合診療を始めました。内科を中心に、緩和医療、外傷処置などを行い、時間外の急患にも積極的に対応して参りました。多くの内科症例を担当してきましたが、内科診療、特に呼吸器のスキルアップの必要性を感じたため、この4月から盛岡医療センターで内科に所属して研鑽を積むことになりました。これまでの経験を生かして、癌などの緩和医療も積極的に行って参りたいと思います。ニーズがあれば、外傷にも対応したいと思っております。

近年、医療はますます細分化され、地域医療といえどもかなり専門的な知識とスキルが必要となっているように思われます。個人でできることは限られていますので、自分自身の役割をよく考え、関係者の皆様と連携を図りながら、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう、努力して参りたいと思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

呼吸器内科に常勤医師がやって参りました!!

【呼吸器内科】

呼吸器内科医師

おお え たかし
大 江 崇

出身大学

杏林大学

資格・専門医等

日本内科学会認定医
AHA ACLS ヘルスケアプロバイダー
日本救急学会 ICL Sプロバイダー
日本神経救急学会 ICL Sプロバイダー



《医師からのご挨拶》

4月1日付で盛岡医療センターに着任いたしました、呼吸器内科の大江 崇と申します。東北大学呼吸器内科での大学院課程修了後、当科OBである木村啓二院長の縁あって当院で呼吸器診療を行うことになりました。

大学院時代は、主にCOPD、喘息の研究を行っておりました。現在は、当院呼吸器内科の先生に色々とお教わりながら、呼吸器診療を行っております。宮城県は栗原中央病院に結核症例が集中しており、当院での結核や非結核性抗酸菌症の診療は大変勉強になっております。また、当院は、呼気NO検査などアレルギー検査に富んでおり、大学での研究・診療をそのまま生かせる場面も多く、楽しく診療しております。

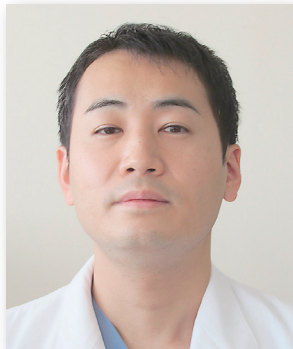
出身は山形県で、岩手は初めて住む場所であります。先日ふと見上げた星空がとても綺麗であり、小さい頃に故郷で見た吸い込まれそうな夜空を思い出しました。高村光太郎の詩の一節に、「東京には空がない」という一文がありますが、東京や仙台ではなかなか見ることが出来ない星空であり、思わず感動してしまいました。コロナ禍のご時世、なかなか外出することが出来ない世の中ではありますが、身近にあるものの良さを再発見する良い機会なのだなと思いました。

前任宮城県でも地域の先生方との紹介状のやりとりから多くのことを学ばせて頂きました。

岩手県においても、地域の先生方との紹介状のやり取りを通して、是非、患者様のご病気に関しまして、discussionさせて頂きたく存じます。お忙しい中大変恐縮に存じますが、情報提供いただけますと幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

冠動脈CT撮影をはじめました



循環器内科医長 肥田 親彦

梅雨の晴れ間の青空は、すっかり夏色になりました。

さて、今号では当院で新たに導入された検査についてお知らせします。2021年2月までの試験運用期間をえて、当院で冠動脈CTの撮影が可能になりました。この5月までの検査数は約30件で、ほぼ毎週冠動脈CTを実施しております。数名の患者様は当院の連携施設である岩手県立中央病院にて血行再建術を行っていただき、その後も元気に通院されておられます。

虚血性心疾患の典型的な症状は胸部絞扼感、胸部圧迫感ですが、的確に症状を表現できる患者様ばかりではありません。極論ですが、突発的な何らかの胸部症状がありましたら、その時点で虚血性心疾患の可能性も鑑別対象として挙げてよろしいのではないかと考えます。当院での冠動脈CT検査は、盛岡北部～近郊地区における胸部疾患の診断において重要なツールとなるのではないかと期待をしております。

もしも冠動脈疾患を鑑別対象とする患者様がおりましたら、当院循環器内科で精査を検討いたしますので、いつでもご連絡ください。

なお、冠動脈CTを実施するにあたり、ご留意いただきたい点がございます。

心臓のCT撮影とは、“うごいているものを撮影する”ので、どうしてもブレを生じます。そのため、息こらえや徐拍化させる必要があるのですが、高度な高次機能障害で指示が入らない方、頻脈の方は実施が難しい場合がございます。なにとぞご容赦くださいますようお願い申し上げます。以下、冠動脈CT検査の適応外となりうる点を列挙いたしましたので、ご参考としていただけますと幸いです。

<適応外項目：ケースバイケースです>

- ◆慢性腎不全（血清クレアチニン値 ≥ 2 mg/dl、eGFR < 60 ml/min/1.73m²）
- ◆50歳未満の女性（一部の文献で乳癌リスクが上がることを示唆されているため）
- ◆著しい冠動脈の石灰化（石灰化スコア ≥ 400 ）
- ◆息止めができない（12秒ほど息止めができればほぼOKです）
- ◆頻脈の症例（80 bpm未満が推奨されます）
- ◆造影剤使用の非推奨者（喘息や造影剤アレルギー既往）
- ◆CTの撮影ができない（高度肥満者や高度な亀背など）
- ◆不安定な冠動脈疾患症例（カテーテル検査が優先されます）



新人看護師を迎えて

教育担当師長 多田 広美

4月に盛岡医療センターでは11名の新人看護師を迎え、新たなスタートを切りました。

新しい白衣をまとった新人さんは初々しい姿で日々、配属された現場で元気よく勤務しています。

新人看護師はこれまで研修を通して、盛岡医療センターの職員としての心構えと共に接遇、感染対策、医療安全などの知識、実践に必要な基礎看護技術を習得することができました。現在、新人看護師は現場に就いて、入院患者さんに対して、先輩看護師の指導の下、早く一人前に仕事ができるように真剣な目でメモを取りながら日々頑張っています。

新人看護師はまだまだ病院の環境や雰囲気、看護実践に慣れることで精一杯な状況が続いていますが、新人看護師が笑顔で元気よく働くことができ、患者さんが安全に医療を受けられるように先輩職員はサポートしています。

新人看護師にはこれから得る知識、経験を活かして、さらなる盛岡医療センターの看護の質の向上に貢献できるよう期待しています。



国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和3年6月1日現在

●受付時間 8:30～11:00（急患については随時対応）

※電話による予約受付時間：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約下さい。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利	木村啓二	高原政利	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
			大江 崇		大江 崇		
			山田博之	只左一也	只左一也	木村啓二	
	午後1:30 ～3:30	新患・再来	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	大江 崇
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	－	－	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	－	－	(13:00～) ☆田巻健治	肥田親彦	－
内 科 (糖尿病内科)	午前	新患・再来	－	－	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	－	－
消化器内科	午前～ 午後3時	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	－	－	☆仙台医療センター 医師
神経内科	午後	新患・再来	－	小原智子	－	村田隆彦	－
リウマチ科 (内 科)	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行	－	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
整形外科・ リウマチ科 (整形外科)	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦	本田剛久	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	－	－
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	－	－
			佐々木朋子				

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
リハビリ テーション科	午前	再来	—	☆山口一彦 (第4週)	—	☆山口一彦 (第4週)	—

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

